

YKK APが、窓を身体で模写するワークショップを初開催 窓を体現する“まど体操”参加者募集

YKK AP 窓研究所 × けんちく体操

2014年10月26日（日）ifs 未来研究所 未来研サロンにて

YKK AP株式会社（社長：堀 秀充、本社：東京都千代田区、資本金：100億円）の「窓研究所（所長：山本 絹子）」は、自社の戦略製品である窓を、自らのカラダで表現し、窓に対する愛着と関心度を高めることを目的として、けんちく体操とのコラボレーションにより「まど体操」を新たに開発しました。

初披露の場として、東京デザイナーズウィーク期間中の2014年10月26日、ifs 未来研究所 未来研サロンにて、ワークショップを開催します。

ワークショップ「窓や建築を身体で表現します！けんちく体操 × YKK AP株式会社 窓研究所」では、広く一般の参加者を募り、「まど体操」を一緒に体験していただきます。窓や建築の専門知識がなくても、子供からお年寄りまで気軽に参加いただけます。

（※参加申込方法につきましては、次頁をご覧ください）



【写真】自由学園明日館（東京都豊島区）の“窓”を模写した「まど体操」（合成イメージ）

日本から世界へと広がっている「けんちく体操」は、建物の形を身体だけを使って表現する教育プログラムです。2013年には日本建築学会教育賞を受賞するなど、その活動は熱い注目を集めています。

本ワークショップは、チームけんちく体操と、窓に特化した独自の研究活動「窓学」に取り組む窓研究所とのコラボレーションにより実施します。この活動を通して、普段何気なく使っている窓を、よりいっそう身近に感じていただければと考えております。

今後、YKK APでは、社内においても、社員研修の機会等を利用し、「まど体操」の普及と発展に取り組んでまいります。

<開催概要>

■ ワークショップタイトル

「窓や建築を身体で表現します！ けんちく体操 × YKK AP株式会社 窓研究所」

■ 開催日

2014年10月26日（日）15:30-17:00 / 受付開始 15:00～

※事前申込制、定員30名、入場無料

■ 会場

ifs 未来研究所 未来研サロン

（住所 東京都港区北青山2-3-1 C I プラザ2F）

ifs 未来研究所が主催する下記イベントのプログラムとして開催

『未来研CARNIVAL ～五感がおどるモノとコト～』

イベント事務局 担当：日置 03-3497-3000 (ifs 未来研究所 未来研サロン WORK WORK SHOP)

■ ワークショップへのお申し込み方法（一般参加者用）

ifs_miraiken@ifs.co.jp までメールにてお申し込みください。

【お申し込み時のメールにご記載いただく内容】

- ・メール件名：窓や建築を身体で表現します。（ワークショップタイトルを記載する）
- ・メール本文：参加を希望する方のお名前、参加人数合計。

※ご連絡いただいた際にすでに定員に達していた場合、お断りする場合がございます。ご了承ください。

※動きやすい服装・靴でお越しください。マットは使用しません。

※イベントの詳細や追加情報は「ifs 未来研究所 WORK WORK SHOP」Facebook ページに掲載しております。是非ご覧ください。

※報道関係者でご取材を希望の方は、当社 広報室（TEL 03-3864-2321）までご連絡ください。

※「チームけんちく体操」とは

「けんちく体操」は、2002年に米山勇（建築史家・東京都江戸東京博物館研究員）と高橋英久（東京都生活文化局）が発案。2010年からクリエイティブユニットの田中元子+大西正紀が加わり「チームけんちく体操」を結成し、普及とワークショップの実践に取り組む。2011年4月の書籍『けんちく体操』の出版をきっかけに、数多くのメディアで取り上げられ、ワークショップは全国から世界へ。2012年にはドイツのパウハウス大学にて、2014年には南アフリカでも開催した。“記念写真は「けんちく体操」で！”をモットーに多くの人々とワークショップを通じて「けんちく体質」を広げていきたいと考えている。

けんちく体操ホームページ：

<http://kenchiku-taiso.com/index.html>



※「窓学」とは

YKK APは「窓は文明であり、文化である」という思想のもと、窓に特化した独自の研究活動「窓学」に取り組んでいます。2007年からスタートしたこの活動をさらに推進する目的で、2013年には「窓研究所」を設立。窓文化創造に向けて、窓の専門知識を収集・保存し、その魅力や新しい可能性を社会へと発信・提言しています。

YKK AP 窓研究所ホームページ：<http://www.ykkap.co.jp/madoken/>

< 報道関係者からのお問い合わせ先 >

YKK AP株式会社

広報室 長沼 史宏

TEL：03-3864-2321 FAX：03-3864-2290

E-mail：k_ykkap@ykkap.co.jp